

# 京都の土地改良



「雪の晴れま」 第11回水・土・里ふるさと写真コンクール入選作品

年頭のごあいさつ	京都府土地改良事業団体連合会会長 野中 広務	2
	京都府知事 山田 啓二	3
本会等の主な活動		
	平成26年度理事会・監事会を開催	4
	第37回全国土地改良大会 山梨大会の開催	5
	農業農村整備の集い	6
	平成27年度農業農村整備事業の予算確保を求める要望活動	7
事業紹介		
	水土里相談推進事業について	8
	土地改良区役職員等研修会	9
	平成26年度研修実績	9
	平成26年度災害復旧技術支援	10
	本年度の研修予定	10
土地改良区等紹介コーナー		
	舞鶴市加佐土地改良区	11
	国営亀岡中部農地整備事業所の開所式	12
その他の活動・事務局だより		
	京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組	13
	「水土里フェスタ2014inゼスト御池」～京の食を支える‘森と水土里’～	14
	京都府農林水産フェスティバル2014	14
	おいしおすえ京野菜キャンペーン2014「京野菜フェスティバル」	15
	非補助農業基盤整備資金	15



## 年頭のごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット京都)

会長 野 中 広 務



平成 27 年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、当連合会の事業の推進や運営等につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も台風 11 号や 8 月豪雨など京都府は 3 年連続で大きな災害に見舞われました。福知山市では中心市街地が浸水するなど由良川中流域を中心に甚大な災害を被りました。被害に遭われた皆様方に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を強く願うものであります。

国内の経済の動きでは、日銀の追加金融緩和による円安の進行などにより一部の企業では大幅な増益が伝えられるとともに、株価に上昇も見られますが、生活の中での景気の回復の実感はないとの声も多く聞かれております。

こうした中、消費増税が延期され、昨年末の総選挙では、与党が再び 3 分の 2 以上を占め、アベノミクスが継続されることとなりました。成長戦略による本格的な景気回復が強く望まれるところであります。

農業農村を取り巻く状況は、過疎化、高齢化、担い手不足、さらには人口減少による地域活力の低下など山積する困難な課題に加え、米価の下落が厳しさを増しています。また、TPP 交渉は、その結果如何によっては、日本の食と農業、美しい農村への甚大な影響が懸念されております。

こうした中、国では「農林水産業・地域の活力創造プラン」を踏まえ、3 月の閣議決定を目指して「食料・農業・農村基本計画」の改定作業が進められています。すでに大きな農政改革が実行段階に入っていることに示されるように食料・農業・農村が大きな転換点にあるとの認識の中で、農業・農村の所得倍増を目指した施策展開の方向が示されるものと大いに期待されるところであります。また農業団体の再編整備に関する施策についても注目して参りたいと考えております。

4 月からは多面的機能支払が、新たな法律に基づく日本型直接支払制度としてスタートします。申すまでもなく、農業農村は国の大本であり、多面的機能支払は健全な農業農村を支えるベースとなる事業の一つであり、農業農村の基盤である農地や土地改良施設の保全整備を担う、私たち水土里ネットの活動と連携させていくことが一層重要になるものと考えております。

連合会といたしましても、「水」、「土」、「里」を次の世代につないでいけるよう、会員の皆様とともに取り組んでまいりたいと存じます。

新しい年を迎え、会員の皆様の活動の強化、農業農村整備事業のハード・ソフトの推進に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸と益々のご隆盛をお祈り申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



# 京都から真の地方創生の実現を



京都府知事 山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年の春、多くの皆さまからご信託を賜り、府政のかじ取りを引き続き担わせていただくことになりました。皆さまからいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、府政に対するお力添えをよろしくお願い申し上げます。

## 社会は大きな転換期に

昨年は、未来に向かっての課題が明確になった年でした。「平成26年8月豪雨」をはじめ、気候変動の影響により京都は3年連続の甚大な災害に見舞われました。改めて被害を受けられた皆さまにお見舞いを申し上げます。府は、一日も早い復旧と将来にわたっての安全確保対策に、国・市町村と連携し全力を挙げて取り組んでいるところでありますが、「経験したことの無い」や「史上最大」という表現が毎回のようになり繰り返される現状を見ると、もう一段階上の根本的な防災対策が大きな課題になっていると思います。

また昨年、私が会長を務める全国知事会で「少子化非常事態宣言」の決議を行いました。地方消滅とまで言われる少子化の問題も高齢化の進展と併せて一刻の猶予もならない状況にあり、婚活から出産、子育て、雇用問題まで、幅広い分野で抜本的な対策を講じなければなりません。

さらに、東京一極集中の是正や中小企業・農林水産業の振興、環境・エネルギー問題など、今、日本社会は大きな転換期に来ており、これまでの対応では解決できない課題を多く抱えています。従来の制度や政策を大きく超えた発想やスピード感をもった新たな施策により「新しい安心」を創出していかなければなりません。

## 大交流時代の実現へ

ただ、一方で京都の観光客数は大幅な回復を見せ、植物園は近年最高の入園者数を記録し、「海の京都」観光圏に認定された府北部5市2町で開催された「海フェスタ京都」では140万人を超える方々にご来場いただきました。

京都府立医科大学、京都府立大学及び京都工芸繊維大学の3大学による全国初の教養教育共同化施設が完成し、豊かな人材育成・交流拠点として活動を始め、学研地域にも企業の立地が相次ぎ、「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」（旧「私のしごと館」）も動き始めました。

さらに今年は、悲願であった京都縦貫自動車道が全線開通し、高速道路の整備が大きな節目を迎えます。また、京都舞鶴港の整備やJR奈良線の複線化事業など、京都がこれまで取り組んできた基盤整備が大きな成果を上げつつあります。これらの整備された交流基盤の上に、「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」や15の「みやこ構想」の花を咲かせ、文化・スポーツ、学術・研究、産業などあらゆる分野で「新たな交流」を進める「世界の交流首都・京都」が姿を現しつつあります。

とりわけ今年は、本阿弥光悦が鷹峯の地で光悦村を開いてから400年の節目の年。オール京都の力を結集した「琳派400年記念祭」で、着物や工芸品など伝統産業の復権を目指すとともに、「PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015」と併せて京都の文化新時代を築き上げていきます。

## 真の地方創生を目指して

これまでの安心を超える「新たな安心」の創出、北から南まで京都の資源と魅力を活かした「新たな交流」により、府民の皆さまと力を合わせて京都の未来を切り開いていきたいと思っております。「少子化対策」、「東京一極集中の是正」、「地域活性化」という地方創生を進めるためにも、京都から安心と交流をつくり出し、お互いが支え合う地域社会を築いていく。京都には、それを可能にする力があります。今こそ、私たちの持つ「京都力」を結集し、真の「地方創生」をつくり上げていきましょう。

この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

# 平成26年度理事会・監事会を開催

以下のとおり理事会・監事会を開催し、それぞれ提案どおり議決或いは承認されました。  
なお、第2回監事会に合わせ第1回監査が行われ、指摘事項はありませんでした。

## 第2回監事会・第1回監査

日時：平成26年7月3日（木）午前10時から  
場所：京都府土地改良事業団体連合会役員室

### 監事会

#### <承認事項>

ア 平成26年度（第1回）収入支出補正予算の承認について

#### <報告事項>

ア 会員支援事業について

イ 平成27年度近畿の農業農村の振興に関する政策提案について

ウ 第37回全国土地改良大会（山梨大会）について

#### <附議事項>

ア 監査結果の報告について



### 監査

- 検査指摘事項に関する改善措置状況
- 平成25年度事業報告書
- 平成25年度収入支出決算書並びに財産目録

## 第2回理事会

日時：平成26年7月5日（土）午前10時30分から  
場所：新・都ホテル

#### <議事事項>

(1) 平成25年度収入支出決算並びに財産目録の承認について

(2) 監査報告及び監事の意見について

(3) 平成26年度（第1回）収入支出補正予算の理事会専決処分について

#### <報告事項>

(1) 会員支援事業について

(2) 平成27年度近畿の農業農村の振興に関する政策提案について

(3) 第37回全国土地改良大会（山梨大会）について

(4) その他



## 第3回理事会

日時：平成26年10月26日（日）午前10時30分から  
場所：新・都ホテル

#### <議事事項>

(1) 支部交付金の私的流用について

(2) 支部規程の一部改正について

(3) 平成25年度事業報告書の訂正について

#### <報告事項>

(1) 平成26年度事業中間報告について

(2) 積立金の経緯について

(3) 第37回全国土地改良大会（山梨大会）について

(4) その他

## 第3回監事会

日時：平成26年10月26日（日）午後1時から  
場所：新・都ホテル

#### <附議事項>

(1) この会と理事との契約又は争訟についてこの会の代表に関する事項について

(2) 平成25年度事業報告書の訂正について

#### <報告事項>

(1) 支部交付金の私的流用について

(2) 支部規程の一部改正について

(3) 平成26年度事業中間報告について

(4) 積立金の経緯について

(5) その他

## 第37回全国土地改良大会 山梨大会の開催



平成26年10月30日（木）、第37回全国土地改良大会（山梨大会）が、「富士の国やまなし発かけがえのない農業を次世代へ水・土・里育む土地改良」をテーマに、山梨県甲府市の山梨県立産業展示交流館「アイメッセ山梨」で全国各地から約3,800名余りの土地改良関係者の参加のもとに開催されました。京都からは会員・事務局113名に加え、京都府農村振興課の相馬課長が参加しました。

オープニングは、「果樹王国やまなし」の農業展開を中心に山梨の美しい農村景観などが映像で紹介され、続いて、歓迎アトラクションとして古典の和太鼓を創意発展させた先駆者で世界的演奏者「天野宣と阿羅漢」による演奏が披露されました。

大会式典は、保坂武山梨県土連副会長の開会宣言に始まり、国歌斉唱のあと、白倉政司山梨県土連会長の開催県挨拶、野中広務全土連会長の主催者挨拶、横内正明山梨県知事、棚本邦由山梨県議会議長の歓迎の挨拶に続き、今回、安倍晋三内閣総理大臣より大会開催のお祝いのメッセージが寄せられ場内は大きな拍手で盛り上がりました。

続いて、小泉昭男農林水産副大臣の来賓挨拶がありました。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、京都府からは永年土地改良事業の推進に多大のご尽力をいただいた和束町の堀忠雄町長が全土連会長表彰を受けられました。

次に、小林裕一農林水産省農村振興局次長の基調講演に続き、東日本大震災復旧・復興状況として岩手、宮城、福島各土連担当者からの基調報告のあと、県内土地改良事業優良事例地区紹介が行われました。

大会宣言は、専門学校山梨県立農業大学校養成科果樹学科2年の石原晃平さんと園芸学科2年の窪田千香さんが、『本日、ここに集う私

たちをはじめとする「水土里ネット」の人々は、先人達から受け継がれてきた、かけがえのない農業・農村を次世代へ引き継いでいくことを、「水・土・里育む土地改良」を合い言葉に、ここ「富士の国やまなし」から、高らかに宣言します。』と力強く朗読し、満場の拍手で採択されました。

最後に、次期開催県である青森県に大会旗引継ぎを行い、野上憲幸青森県土連会長の挨拶のあと、田辺篤山梨県土連副会長の挨拶で閉会となりました。

大会終了後、甲府市内のホテルにおいて、野中会長出席のもと京都府の参加者全員により交流会を行いました。野中会長の誕生日を全員でお祝いした後、いろいろな情報交換が行われ、京都府内の農業農村整備事業の推進のため一層努力することを誓い合い、盛会の内に終了しました。

翌日からは各支部希望のコースに分かれて、県内で実施された土地改良事業地区を視察しました。

なお、次回の第38回全国土地改良大会（青森大会）は平成27年10月15日（木）、青森市の新青森県総合運動公園（マエダアリーナ）において開催されます。

多数の参加をお待ちしています。



堀忠雄氏

# 農業農村整備の集い

平成26年11月25日（火）、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」（東京都千代田区）において、国会議員や農林水産省の幹部らを来賓に迎え、各都道府県土連の関係者約730名の参加（京都府からは11名参加）により、全国土地改良事業団体連合会主催「農業農村整備の集い」が開催されました。

はじめに、野中広務全土連会長の挨拶があり、農業農村整備事業の推進の必要性を強調されるとともに、本年度当初予算が大幅削減前（平成21年度）の7割を上回るまで復活した中、‘地域のニーズを十分に満たし、復活したと実感できる’来年度予算の確保へ、より一層の支援を強く求められました。

引き続き、石破茂地方創世担当大臣（以降、役職は解散前）、小泉昭男農林水産副大臣をはじめとする来賓の祝辞、情勢報告、事例発表に続き、新たな経済対策への緊急要請と要請書が採択され閉会となりました。

閉会后、農水・財務・復興の各省庁を中心に関係土連から要請活動が行われました。

京都府からは、藤原秀夫副会長を先頭に京都市、巨椋池土地改良区、宇治田原町、亀岡市、福知山市、丹後土地改良区の各会員、また京都府農林水産部農村振興課からも参加いただきました。



## 要 請 書 (抜粋)

記

- 1 安定的・計画的な事業執行のために、平成27年度当初予算において、農業農村整備予算が復活したと実感でき、現場のニーズに十分応えられる規模を確保するとともに、農業の競争力強化につながる農地整備や国土強靱化の考えに即した防災・減災対策に対して重点的に措置すること。
- 2 TPPの交渉に当たっては、衆参両院の国会議決を踏まえ、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に悪影響を及ぼすようなことは、国として断固行わないこと。
- 3 食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、強い農業を展開するため、水田の大区画化や汎用化、細地かんがい施設の整備をはじめとした各種の対策を、国が責任をもって推進すること。  
その際、中山間地域等の地域特性を踏まえた農業経営の展開が可能となるよう十分配慮すること。
- 4 東日本大震災を始めとする災害からの復旧・復興に向け、農業用施設、農地海岸保全施設等の復旧や農地の大区画化、除染等の対策を加速的に進めること。
- 5 国民の命と財産を守り、我が国の食と農林漁業を再生するため、国土強靱化の考えに即し、ため池を含む老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化等の防災・減災対策を着実に推進すること。
- 6 多面的機能支払いの推進に当たっては、十分な予算確保に加え、地域の実情に応じ柔軟に対応するとともに、特にこれまで「農地・水管理支払交付金」の推進に多大なる役割を担ってきた地域協議会の役割に鑑み、地域協議会の位置づけを明確化すること。
- 7 農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減等に資するため、小水力発電等を推進すること。  
また、複数の電力会社で実施されている系統接続の回答保留を早急に解除するよう働きかけること。
- 8 農地中間管理事業をはじめとする農業の構造改革の推進に当たっては、土地改良区が有する技術と経験とともに水土里情報システムを活用すること。加えて、機構による借り受けや担い手等への農地集積が、土地改良区が担ってきた水利調整や末端の農業用水路等の保全管理に与える影響を最小限とすること。
- 9 健全な農業生産活動には、水路、ため池等の農業用施設の適切な維持管理を実施している土地改良区の役割が重要。  
しかしながら、その運営基盤は、組合員の減少や農事用電力の大幅値上げ等により大きく揺らいでいる。  
一方、担い手への農地集積等により、今まで以上に高度な維持管理を求められているため、今後とも土地改良区が施設の適切な維持管理を行えるよう、運営基盤の強化を図ること。

# 平成27年度農業農村整備事業の 予算確保を求める要望活動

本会並びに京都府農業農村整備事業推進協議会は、平成27年度の農業農村整備事業予算の確保に向けて、農林水産省、近畿農政局、京都府並びに国会議員等に対し要望活動を行いました。これらの要望活動は、昨年6月14日に開催した「京都府農業農村整備事業推進大会」で採択された決議に基づき実施したものです。

京都府内では、一昨年本会が実施しました「ため池一斉点検」や、また自然災害が身近なところで毎年発生していることから、農村地域の防災意識が高まっており、防災減災のハード・ソフトの事業要望が増加しています。また、担い手への農地集積の加速・農作業の省力化を目指した基盤整備、これまでに建設され老朽化した施設の長寿命化等の事業要望が強くあります。

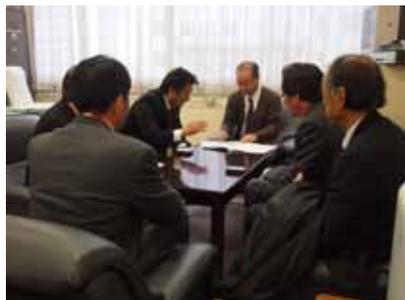
本会では、こうした要望や水土里相談などでいただいたご意見ご要望を踏まえ、特に下記事項について強力に要請しました。

## 記

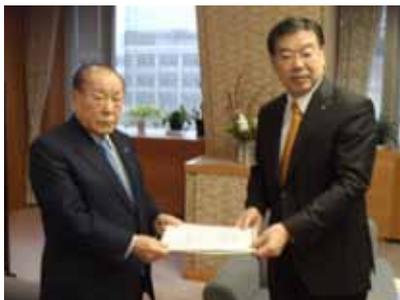
- 1 農地や農業用水、ため池整備など農業農村整備事業の一層の推進
- 2 災害に強い農業・農村を構築する、ため池を含む農業水利施設の長寿命化と耐震化等の防災・減災対策の推進
- 3 土地改良施設の維持管理と適切な更新整備を計画的に進める取組の推進
- 4 水土里ネットの行う事業と多面的機能支払活動との積極的な連携による、地域資源の適切な保全管理の推進
- 5 都市部における農業振興と土地改良施設の整備・保全対策の推進
- 6 土地改良団体の運営基盤の強化

平成26年11月19日 自由民主党京都府連  
20日 民主党京都府連  
25日 農林水産省  
国会議員

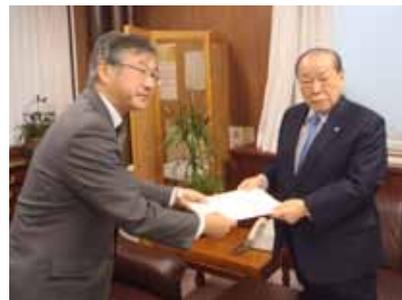
12月11日 近畿農政局長  
京都府知事



室本農村振興局整備部長への要望  
(11月25日)



山田京都府知事への要望  
(12月11日)



曾根近畿農政局長への要望  
(12月11日)

# 水土里相談推進事業について

本事業も3年目を迎え、会員の皆様にも本事業の趣旨をご理解いただき、土地改良区の運営や土地改良施設の管理など多岐に渡る相談や要望をいただいているところです。

平成26年度の水土里相談推進事業の実施状況及び3年間の主な相談内容と件数の推移を下表のとおり取りまとめました。

なお、連合会では今後も会員の皆様とともに、土地改良事業の一層の推進に向けた取組を図るために本事業を推進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

## 1 実施状況

支部名	会員	出席会員	出席者数	実施年月日
京 都	15	6	10	H26.7.15
乙 訓	6	4	6	H26.7.16
宇 治	9	2	3	H26.8.4
綴 喜	9	6	9	H26.8.1
相 楽	12	7	11	H26.7.28
亀 岡	13	8	13	H26.7.25
南 丹	6	5	8	H26.7.24
京丹波	6	4	17	H26.8.27
綾 部	8	5	6	H26.7.23
福知山	8	4	5	H26.7.23
舞 鶴	3	2	5	H26.8.13
与 謝	3	3	3	H26.7.17
丹 後	5	5	10	H26.7.17
13支部	103	61	106	

## 2 相談内容と件数の推移

項 目	24年度	25年度	26年度
1 土地改良区の運営について	70	36	45
2 土地改良施設について	32	20	32
3 会員支援事業について	19	6	5
4 要望等について	16	11	19
5 多面的機能支払交付金（農地・水）について	0	6	8



# 土地改良区役職員等研修会

平成26年12月3日（水）、ホテルルビノ京都堀川（京都市上京区）において、120余名の出席者のもと、土地改良区役職員等研修会を開催しました。

当研修会では、近畿農政局農村計画部土地改良管理課山田課長による「土地改良区の適正な運営について」をはじめ、全国土地改良事業団体連合会浦山中央換地センター参与による「土地改良区運営の現状と課題等について」のほか、京都府農林水産部農村振興課小泉主査よりため池一斉点検に関する講義、および同課今井副主査より再生可能エネルギー等に関する講義、参加者の方々の健康増進のための健康セミナーを行いました。

参加者の皆様には、全国調査及び京都府調査にもとづくデータや諸事例など貴重な情報を参考に、それぞれの土地改良区等でさらなる適正な運営に活かして頂けることをご期待いたします。



(左) 会場の様子  
 (上) 全国土地改良事業団体連合会浦山参与  
 (右上) 京都府小泉主査  
 (右下) 京都府今井副主査

## 平成26年度研修実績

### 水土総合強化推進事業（土地改良換地等強化事業）

日時	場所	研修名	内 容	参加者
8/21～22	京都府自治会館	換地事務担当者研修（南部）	土地改良法、換地理論、換地計画書作成、代位登記	6名
8/27～28	舞鶴市加佐公民館	換地事務担当者研修（北部）	〃	9名
4/4～12/11 現在	各地区現地公民館等	換地委員等実務研修	換地のあらまし、換地設計基準、土地評価・清算	103名 ※延べ人数

### 全土連主催の研修（近畿ブロック）

日時	場所	研修名	内 容	参加者
9/4～5	ルビノ京都堀川	換地関係異議紛争処理対策検討会	異議紛争の早期解決及び未然防止を図るため換地事務に係る指導研究会及び異議紛争処理検討会	42名

※ H27 年度奈良県で開催

## 平成26年度災害復旧技術支援

昨年、京都府では8月の台風11号、集中豪雨などにより、とりわけ中丹地域を中心に農地や農業用施設などに甚大な被害が出たところです。

連合会では、市町村からの要請を受けて10月から12月かけ実施された災害査定に対して技術支援を行いました。今回の被災総件数・額及び査定件数・額は次のとおりです。

なお、連合会では災害等緊急な要請に迅速に対処出来るよう、トータルステーション、電子平板等測量機器も更新しています。

被災総件数	被災総額	内 訳	
2,223 件	2,480,000 千円	農地 : 994 箇所、 809,000 千円	施設 : 1,229 箇所、 1,671,000 千円
査定決定件数	査定決定額	内 訳	
293 件	815,431 千円	農地 : 124 箇所、 261,977 千円	施設 : 169 箇所、 553,454 千円



## 本年度の研修予定

会員の市町村及び土地改良区における農業土木に関わる技術者の育成、技術の継承及び多様化する技術に関する知識の向上を図ることを目的に、技術力強化対策として下記のとおり研修会を予定しています。

研修内容	開催予定日	開催予定地	研修対象
災害復旧技術者の講習（認定・更新のための講習）	平成27年2月2日	京都市内	・府、市町村等
ため池技術研修会（ため池の管理について）	平成27年2月5日	京都市内	・市町村
近畿農業農村構造改革推進研究会	平成27年2月12日	奈良市内	・市町村、改良区他
技術力向上事業第2回研修会（再生可能エネルギーの整備等について他）	平成27年2月20日	滋賀県	・市町村、改良区
小水力導入推進研修会（現地研修）	平成27年2月25日	検討中	・市町村、改良区
換地計画実務研修会（土地改良関係訴訟判例について）	平成27年2月27日	ルビノ京都堀川	・市町村、改良区

### 舞鶴市加佐土地改良区

会員の皆様、こんにちは。私たちは、舞鶴支部三会員のうちのひとつ、舞鶴市加佐土地改良区です。これから、加佐土地改良区の概要と現在の活動状況について紹介をさせていただきます。

舞鶴市加佐土地改良区は、昭和34年2月17日に設立されました。それ以前は、今の改良区内に五つ（岡田上、岡田中、岡田下、八雲、志高）の土地改良区がありましたが、昭和28年の災害後、その復旧計画に合わせ農地の嵩上げとほ場整備を行うために、これらの改良区を統合し現在の形となったものです。

当時の組合員数は1,416人、549haの耕作反別でしたが、平成24年度末では、組合員数686人、耕作反別316haとなっています。

設立以降、平成初期にかけて100haに及ぶ事業に取り組み、加佐地区の農業に大きく貢献してきました。平成に入ってから新規事業は行っていませんが、近年は水土里ネット京都様のご支援をいただきながら、地域振興を図る取り組みとして、毎年夏と秋に「とびっきり市」と銘打ち、加佐地区の特産品販売、イベントを行っています。今では当地区の風物詩となり、大変好評を博しているところです。以下に、今年の模様をレポートしますので、少しでも皆様に雰囲気伝われば幸いです。

#### 【夏の特産市（夏の舞鶴・加佐とびっきり市）】

8月3日の日曜日、大変暑い中、「夏の特産市（夏の舞鶴・加佐とびっきり市）」と「川舟レース&こどもハゼ釣り大会」を由良川橋付近で同時に開催しました。

草刈りやイベントののぼり立て、土のう作りなど会場設営は、加佐土地改良区をはじめ21加佐活性化協議会、加佐ふるさと塾、地元の農家、加佐中学校の生徒など約80人のスタッフが行い、夏の真っ盛りでとても大変でしたが、お互い交流と親睦を深めることができました。また川舟レースやこどもハゼ釣り大会にも、加佐地区以外からも多くの方々に参加いただき約400人の人で大いに賑わいました。

夏の特産市では、舞鶴発祥の万願寺甘とうを使った「万願寺甘とう串カツ」、下東（八雲）の「安寿そば」、西方寺（岡田中）で育ったニワトリの「焼き鳥」、また地元の食材でつくった「バラ寿司」などが、また改良区以外からも、神崎の沖合の海水を煮詰めてつくった「神崎の塩」が出品され、大変好評で早々と売り切れてしまうものもありました。そのほかにも、由良川で獲れたテナガエビと万願寺甘とうの炒め物の振舞いも好評でした。加佐地区特産の農産物を多くの人に味わっていただくことで、加佐地区をアピールすることができ、地域おこしとしても効果があったのではないかと思います。



#### 【秋の特産市（秋の舞鶴・加佐とびっきり市）】

11月23日、日曜日。「秋の特産市（秋の舞鶴・加佐とびっきり市）」と「第30回加佐地区ふれあいサンデー」を加佐公民館で同時開催しました。21加佐活性化協議会や加佐ふるさと塾、加佐土地改良区などスタッフ約30人、出店者約20人で当日朝早くから会場設営を行いました。会場にはふれあいサンデーに出演する地元の保育園、小中学校の生徒、平均年齢83歳の岡田上の皿回し同好会、またその見学者、さらに特産市のごちそう目当てに来られた人たちなど約500人で会場はあふれ返りました。

秋の特産市では、岡田下で収穫された小豆と搗きたての餅を使った「ぜんざい」に長い行列ができ、また全国茶品評会でかぶせ茶1等賞に輝いたお茶の振舞いや販売コーナーも多くの人であふれました。岡田中からは「万願寺甘とう串カツ」、岡田上からは「バラ寿し」、「豚汁」、「冬瓜」、「ごぼう」、「ねぎ」、「ヤーコン」などが、八雲からは障害者施設でつくったパンなどが出品されました。神崎からは「ムラサキイモのふかし饅頭」や、「サツマイモの茶きん絞り」、「手作りおはぎ」、「落花生」、「塩」などが出品され、どれも大変好評を博しました。



# 国営亀岡中部農地整備事業所の開所式

国営亀岡中部地区緊急農地再編整備事業が事業着手の運びとなり、平成26年8月1日付けで国営亀岡中部農地整備事業所が設置されました。10月28日には関係者総勢145名の出席のもと亀岡中部農地整備事業開所式が「ガレリアかめおか」において盛大に開催されました。

亀岡中部地区は、一級河川淀川水系桂川（保津川）右岸の比較的穏やかな傾斜の農業地帯で、水稲を中心とした土地利用型農業の経営が行われています。

しかし、ほ場が狭小で不整形であるため機械の大型化が困難であり、また、かんがい方式が田越しかんがいであるため水利用の自由度がなく、一部のほ場では排水不良も生じており、効率的な農作業への支障となっていることから、今後、耕作放棄地が増加する恐れがあります。

このため、本事業では、区画整理を施行し耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地集積を進めることにより、生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図ることを目的としています。

## 事業の内容

事業工期 平成26年度～平成35年度（予定）

総事業費 150億円

受益面積 444 ha

換地工区 曾我部工区、佐伯工区、本梅工区、桂川西工区、千代川工区、余部・安町工区

### 工事概要

区画計画 ほ場区画は、地形により1.0 ha、0.5 ha 及び0.3 ha を標準に計画

道路計画 ほ場の配置や集落との取付けを踏まえ、幹線道路（全幅7.0m アスファルト舗装）、支線道路 A（全幅5.0m アスファルト舗装）及び支線道路 B（全幅4.0m 砂利舗装）を計画

用水計画 用水は現況の水源（河川井堰、溪流及びため池）を利用し、用水路は鉄筋コンクリートフリーム等の開水路で計画

排水計画 排水量は、1/10年確率の日雨量を基準として、ほ場単位の小排水路、それをへて河川に排水する支線排水路を整備。

排水路は鉄筋コンクリート二次製品と土水路との複断面で計画



# 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組

## 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良組織表彰

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会では、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、多面的機能支払交付金（旧農地・水保全管理支払交付金）活動に取組み、地域ぐるみで効果の高い活動を実践している優良な活動組織を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良組織表彰を実施しています。

本年度は5市町から5組織の推薦があり、平成26年11月10日及び12日に現地ヒアリング及び審査委員会を実施しました。現地ヒアリングでは、各組織から取組の特徴やアピールポイント等の説明後、審査委員との質疑応答・意見交換が行われました。審査委員会では、現地ヒアリングの結果を踏まえ、審査委員の活発な協議により、下記の5組織が優良組織として、京都府知事賞他各団体賞受賞組織に選定されました。

いずれの組織もそれぞれの地域の特徴を生かした活動を実践され、地域活性化が図られるなど、これまでの活動の成果が高く評価されました。

なお、表彰式は平成26年11月29日（土）開催の「京都府農林水産フェスティバル2014」において行われました。

賞の名称	活動組織名	市町
京都府知事賞	滝・金屋中山間振興会	与謝野町
京都府農業協同組合中央会長賞	木津川市瓶原地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会	木津川市
京都府農業会議会長賞	西方寺地区活動組織	舞鶴市
京都府土地改良事業団体連合会会長賞	農地・水・環境保全組織馬路町環境クリーン団体	亀岡市
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会長賞	獅子農と環境を守る会	宮津市



## 第5回 農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の啓発活動「第5回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール」を開催したところ、府内の児童から227点の応募があり、10月16日に開催した審査委員会において入賞作品が決定しました。審査委員長の京都新聞松田規久子地域担当部長より「自分が育てた野菜への愛情や収穫への喜び、山・川・田畑など環境への強い関心が感じられる、躍動感ある色彩豊かな作品が寄せられました。」と講評をいただきました。

なお、表彰式は平成26年11月29日（土）開催の「京都府農林水産フェスティバル2014」において行われました。

※当コンクールの入賞作品は裏表紙をご覧ください。



## 「水土里フェスタ2014inゼスト御池」 ～京の食を支える‘森と水土里’～

平成26年9月3日（水）から9月11日（木）、ゼスト御池地下街「市役所前広場」（京都市中京区）において、京都府森林組合連合会と合同主催により（共催：京都市、後援：京都府）、水の役割、水を育む森や農山村の営み、水を利活用し守る活動等に係るパネルとともに、今回は京都市立伏見工業高等学校の螺旋水車による農業用水を利活用する取組の模型等を展示し、「水」の重要性、や「森と水土里」について府民啓発を行いました。

この取組の中で、私たち水土里ネットの役割・活動、また土地改良施設と管理などについて理解を深めていただくとともに、農山村とその地域資源等を再認識していただきました。



クイズの答えを探している子供たち



小水力発電装置に興味深く見る家族

## 京都府農林水産フェスティバル2014

平成26年11月29日（土）、30日（日）の2日間、京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）において、「京都府農林水産フェスティバル2014」が開催されました。

本会では、同フェスティバルに参画し、農業農村整備の重要性と土地改良区の役割と活動を多くの府民に知っていただくため、水土里ネット京都のPRブースを出展しました。展示ブースでは、水が山から流れる絵を用いて食に関わる土地改良施設の役割を紹介する啓発パネル「“水”は“食”をつくる」やこれら土地改良施設の保全・管理を通じて農業農村の活性化に取り組む水土里ネット（土地改良区）の活動を紹介します。「21世紀土地改良区創造運動」取組状況パネル、そして「第11回水・土・里ふるさと写真コンクール」入賞作品の展示を行いました。

ご覧になる方々の中には、自分の住んでいる地域が紹介されていることに気づかれる方もあり、内容について質問されるなど展示パネルに興味深く見ておられました。



## おいしおすえ京野菜キャンペーン2014「京野菜フェスティバル」

平成26年11月1日（土）～3日（月）の3日間、梅小路公園（京都市下京区）において、京野菜の魅力を発信するため、府内産の野菜や果物、九条ネギを使ったラーメンの販売が行われる「京野菜フェスティバル」が開催されました。

昨年同様、特に、ラーメンバトルには長蛇の列ができる店もあり、多くの府民が京野菜を満喫するフェスティバルとなりました。

なお、本会も、PRブースを設置し、水土里ネットの役割の紹介など農業農村整備事業の啓発を行いました。



## 非補助農業基盤整備資金

農業基盤整備資金は、用排水路の改良、ほ場整備、農道整備など生産基盤を整備して農業生産力の増大及び生産性の向上を図るための資金です。

また、農業集落排水施設の整備など生産基盤と一体として行う生活基盤の改善に必要な資金も対象となります。

### ■対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水（宅地内配管、トイレ、浴室、洗面所の改修等）、土地改良区事務所、事務機器、車両、調査費など。

### ■ご利用いただける方

土地改良区、土地改良区連合等

### ■融資条件

償還期限：25年以内（うち据置期間10年以内）

融資限度額：地元負担金（最低限度額50万円）

金利：0.8%（平成26年12月18日現在）

## 融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、京都府土地改良事業団体連合会  
日本政策金融公庫京都支店 農林水産事業（075-221-2147）

# 子ども絵画コンクール

入賞作品

京都府知事賞



【ぼくときゅうり】 足立 晴(小3)  
亀岡市 保津町農地・水・環境改善協議会

京都府知事賞



【川で生き物調査】 岡野 友結(小6)  
京丹後市 河梨区活性化組合

京都府土地改良  
事業団体  
連合会長賞



【アイガモといっしょにそでたよ】  
芦田 悠(小1)  
福知山市 中六人部地域資源保全会

京都府農業協同  
組合中央会長賞



【おばあちゃんと私のトマト】 川崎 亜湖(小2)  
京丹後市 周知区営農組合

京都府農業協同  
組合中央会長賞



【田植え体験】  
藤井 照大(小6)  
京都市 静原の農と環境を守る会

京都府農業会議  
会長賞



【いろいろないろの魚】 小西 菜々美(小3)  
与謝野町 明石岩環境保全推進協議会

京都府農業会議  
会長賞



【野菜畑】  
関口 里桜(小5)  
亀岡市 保津町農地・水・環境改善協議会

京都府土地改良  
事業団体  
連合会長賞



【田んぼと山】 鎌田 小鉄(小5)  
井手町 上井手地域資源保全会

京都府農地・水・  
環境保全向上対策  
協議会長賞



【「ヤッター」捕まえた】 田村 明(小2)  
亀岡市 南條農地・水・環境保全協議会

京都府農地・水・  
環境保全向上対策  
協議会長賞



【田んぼの生きものたち】 近本 優大(小3)  
南丹市 クリーン横田

京都府農地・水・  
環境保全向上対策  
協議会長賞



【捕まえた】 田村 綾(小4)  
亀岡市 南條農地・水・環境保全協議会

京都府農地・水・  
環境保全向上対策  
協議会長賞



【いもほり】 照屋 幸子(園児)  
舞鶴市 泉源寺地区活動組織

京都府農地・水・  
環境保全向上対策  
協議会長賞



【さかなつかみ】 和田 真希(小1)  
南丹市 船岡農地・水・環境保全向上対策委員会

京都府土地改良事業団体連合会

みどり  
水と土ネット京都

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館

TEL(075)451-4137 FAX(075)414-2777

E-mail: info@midorinet-kyoto.jp

URL: http://www.midorinet-kyoto.jp